

教育學部  
資料室

38  
光村 小国 624

文 部 省 検 定 済 教 科 書

教科書文庫  
6  
720  
34-1950  
0130449899

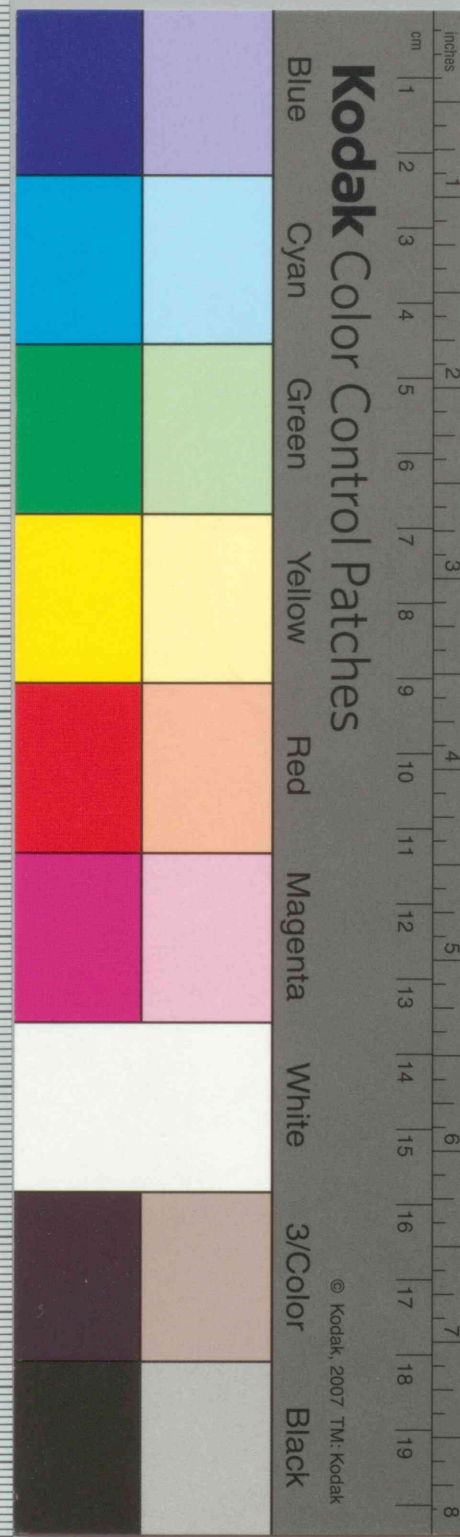
石 森 延 男 編  
金 田 心 象 書

書 本 方

六 年 上



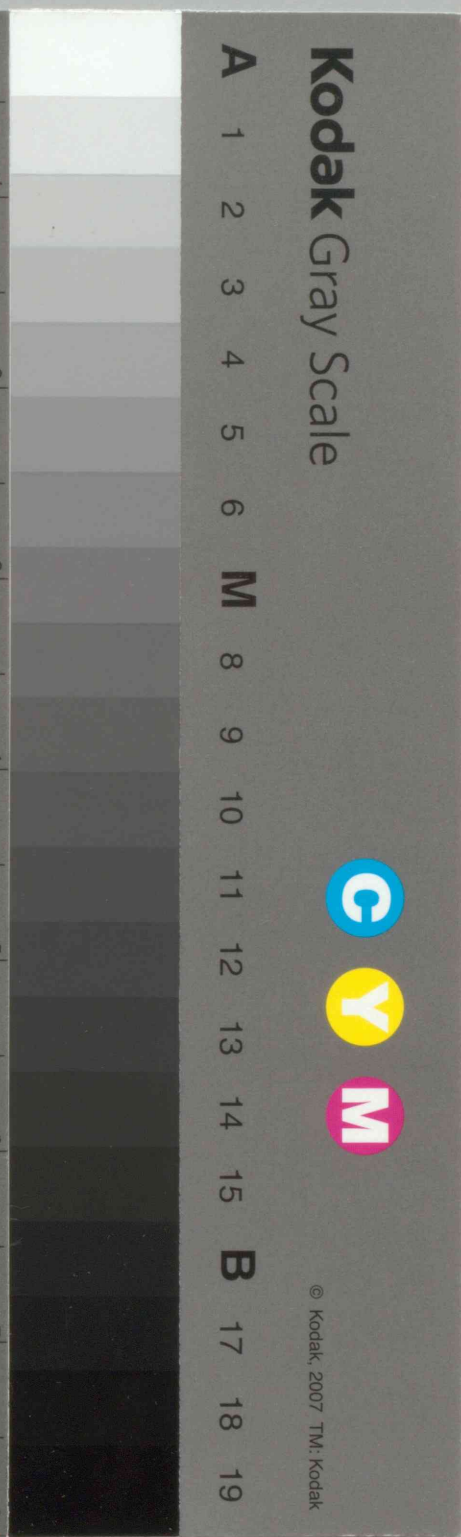
KC4  
Mi65



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

60271

教科書文庫

6.  
720  
34-1950.  
01304  
49899



# 中央図書館

## もくじ

一	私のメモ	1
二	心がけ	2
三	注意書き	4
四	はい句	6
五	散文詩	8
六	観察日記	14
七	まとめ	20
八	やくそく	32

広島大学図書  
0130449899



# 贈 寄

私のメモ（メモや予定などを えんぴつで 小さくきれいに 書きとめる）

- 一年生歓迎の会について  
三年以上のはん長たちと相談すること
- 全校自治会のこと  
話題をさめておくこと  
その日時について
- 小遠足  
目的地について相談すること  
その日時について
- 図書室の整理とカード作製
- 学級文集の作文  
廿四日までに編集の人に  
出すこと
- 一年生記念植じゆの手伝い

教科書文庫  
6  
720  
34-1950  
0130449899

広島大学図書  
0130449899



広島大学  
教育学部図書

## 図書室での心がけ

- 一 読書の目的を心の中にかためて入室しよう。
- 二 同種類の本を見くらべて、どぶんの目的にかなうものをえらぶようにしよう。
- 三 疑問のところは、先生に相談しよう。

- 四 よく味わい、よく考えながら読もう。
- 五 ためになる本を読んだら、友だちにすすめてあげよう。

- 六 読みおえたら感想を書いておこう。
- 七 心に感ずたところを書きうつしておこう。
- 八 本のよーあーを考えて読むようにしよう。

三 注意書き (注意書きや 心おぼえなどを 方眼紙に ペン字を 正確に 美しく 書く)

白紙に文字を書く

上下左右に余白をのこして書くよう

にする。

金俵の字くばりに気をつけて書く。

行がまがらないうようにして書く。

各行の頭をそろえ、  
終りをいいとこ

ろで切って書く。

行と行との間が同ドになるように書

いていく。

字の大きさを、  
書きぶりが、  
はじめと

終りで変らないうようにして書く。

四 はい句 (はい句や 短歌などを ベンで 美しく たのしんで 書く)

すきな はい句 (友だちの作ったものからえらぶ)

夕顔にともせばとどくほかげかな

移りゆく車そう風景黄や緑

夕やけをうつりてまわる水車かな

風ふけばさくらは散りてやまぬかな

外燈や右往左往の虫の数

心に太陽をもて

心に太陽をもて、

あらいが、ふこいが、 雪が、ふるうが、

天には雲、

地にはあらしが、たえなかるうが、

心に太陽をもて。

そうすりやなにがこようと、

平気じゃないか。

どんな暗い日だって、

それが明るくしてくれる。

くちびるに歌をもて、  
ほがらかな調子で。

日々の苦勞に、

よし心配がたえなくとも、

そうすりやなにがこようと、

平氣じゃないか。

どんなさびしい日だって、

それがえ氣にしてくれろ。

他人のためにもことばをもて、

なやみ、善いんでいる他人のためにも、

そうして、なんでこんなにはがらかでいられるのか、  
それを、こう話してやるのだ。

くちびるに歌をもて、

勇気を失うな。

心に太陽をもて

そうすりゃ、なんだって、ふっとんでしまおう。



か、い、こ日記

6月30日 本曜日 雨

か、い、こは6cmになった。くわをたべる量が多くなったので、た、い、へん、い、そ、が、し、い、に、い、は、ん、は、学、校、か、ら、帰、る、と、す、ぐ、く、わ、き、り、に、山、に、い、っ、て、く、る、の、で、あ、る、。

7月1日 金曜日 くもり

か、い、こ、は、7cmになった。か、い、こ、の、ふ、せ、り、か、た、が、な、か、な、か、早、い、。

7月2日 土曜日 雨

おかあさんがか、い、こ、に、白、い、な、を、ふ、り、か、け、て、い、る、の、を、見、た、。

「ど、い、い、わ、け、で、か、け、る、の、で、す、か、い、」と、き、くと、「か、い、こ、が、病、気、に、な、ら、な、い、た、め、で、す、。」と、い、わ、れ、た、。「そ、れ、は、な、ん、て、い、い、の、で、す、か、い、」と、た、ず、ね、る、と、「せ、っ、か、い、だ、よ、。」と、い、わ、れ、た、。

7月3日 日曜日 晴

きょうは日曜日なので、か、いこの下かえの手つだ、いをした。そしてか、いにくわをくれた。か、いこのようによく見て、いると今までに気のつかなかったことがだんだんとみつかってきて、ほんとうにももしろい。今まで頭だと思っていたのがむねだ。むねには6本の足があり、はらには10本の足があって、す、いっく、いぼが出ていた。

第1にあるものようなものは、気門と書いてか、いこのこさうをするところ、おのさきにある角のようなお角で、これはもと敵をおどすための道具だ、と、い、いことだ。せなかの黒いすじのような一本の線は、いぞいで、のびたり、ちぢんだりして見えるのは、血が流れているのだと、い、いこともわかった。

7月4日 月曜日 雨

キョウは雨がふったので、くわがぬれてしまった。1ニハさんが  
切ってきてくれたくわを、おかあさんと私とでかわかした。

7月5日 火曜日 晴

かいはじめきめきふとる。はかつたら8cmだった。くわをた  
べる音が雨のふるようにきこえる。

7月6日 水曜日 晴

おかあさんが、「かいはがあがりはじめた。」といわれた。  
おかあさんのひろっているのを見るとからだがいびいて見える。  
もうくわをたべようとして、頭をあげてあちこちに動か  
している。どくにまゆを作ろうかと、その場所をさがしてい  
るようだ。まぶしにうつされたかいは、よい場所をみつけたの  
だろい。口から細い糸を出して頭を動かし、まゆを作りはじめた。

学校新聞を学習してまとめたこと

一目あて

- (1) いろいろな新聞を読んだり作ったりする。
- (2) これによって、真実を伝え、正しい意見をのべるよ  
うになる。
- (3) また美しいものを愛し、責任感を高めていく。
- (4) 共同作製をすることによって、協同・友愛の精神  
を深めていく。
- (5) いろいろな研究や調査や創作によって、どぶんたちの  
才能や個性を自覚していく。
- (6) 新聞の発行について学ぶ。
- (7) 新聞の記事やその編集の仕方を学ぶ。

(8) どんな順序で作られるかを学ぶ。

(9) 次のような記事について学ぶ。

ニュース、解説、物語、詩歌、音楽、美術、  
運動、保健、衛生、天文気候、し育、サ、  
いはい、写真、まんが、広告など

ニ学校新聞あるいは学級新聞の作りかたを学ぶ。

(1) 学校であるいは学級で新聞はんをつくる。

(2) 新聞はんを次のような係に分ける。

ニュースを集めるもの、感想を書くもの、  
写真を切りぬくもの、まんがを書くもの、  
投書や応答をいらべるもの、  
広告文などを  
書くもの。

(3) ニュースは、いろいろなところ、場合で得られる。

登校や下校の時でも得られること。

家庭や学校で起った事件。

学習中にあつた興味のあることから。

学芸会、運動会、遠足、展覧会その他の行事について。

予定、予告、結果報告など。

(4) 学習したことを新聞記事にする

こん虫、植物、鳥類、魚類などのし育観察。

工夫創作によつてできた機械、器具の解説。

雨量、温度、天候など長期にわたる観察統計の報告。

読書のしらせや感想など。

ドブんで作った尚題や調査研究など。

(5) とまどき、特集記事をかかげる

反省を必要とするばあ。

たとえば、ことばづかい、遊びかた、あひさつのりかた、

そらりのりかた、食事のりかたなどで。

夏季あるいは冬季における衛生や運動など

について注意を必要とするばあ。

その他危けん防止週間、防火デーとか、同情週間、

共同ぼ金に協力するばあ。

(6) 書きあげた原こは発表前にていぶすること。

(7) ていぶした原こを清書すること。

三 学校新聞を学習して得たこと

(1) 次のような知識を得た。

よい新聞はどんな条件をそなえていなければならないか。

文の構造や表現に関すること。

辞書の使いかたと参考書を利用すること。

印刷機のことやとりや版の使いかたがわかる。

(2) 習慣として次のようなことがやりなわれる。

協同して仕事をする事。

「ぶん」の受持ったことをはたさねばならぬこと。

新聞を読む習慣がでる。

読みかたや話しかたや作文の学習をさらによく



して、こうとする習慣。

(3) 態度として次のようなことがやいなわれる。

他人のいうことをよく聞くという態度。

ドブンの作品と友だちの作品をくらべてよく考えてみるという態度。

共同でする仕事に参加して、これに対してよく理解をし、またよいありをいう態度。

一ぱんの新聞について関心をもつ態度。

(4) 次のようなことがわかってきた。

新聞というものがどれほどわれわれに大切なものであるかを知った。

一まいの新聞を作りあげる苦心もよく知った。

八 やくそく（鉄筆で やくそくした ことや 一らん表などを 書く）

修学旅行のやくそく

氏名

相談すること  
きめたこと

目あて

目的地

集合日時

集合場所

出発時刻

帰宅日時

持物

本書学習指導の目あてと要領

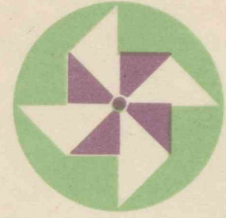
- 一 メモや予定などをえんぴつで小さくきれいに書く。
  - 二 学習したことや調査したことをえんぴつでわかりやすく早く書く。
  - 三 ペンで注意事項、心おぼえなどを、ていねいに書く。
  - 四 ペンで俳句や散文詩などを美しく、たのしんで書く。
  - 五 ペンで観察日記などを横にきれいに書く。
  - 六 鉄筆で一覧表や行事表、予定表などをきれいに書く。
  - 七 いろいろな書く形式になれる。
  - 八 えんぴつ、ペン、鉄筆などの用具の使い方とその特色がわかる。
  - 九 漢字、かなの早書きができる。
- （なお各ページの指導については、「書きかた指導書」に詳説してある。）

そうてい 河野 鷹 思

書 き 方 六 年 上

APPROVED BY MINISTRY  
OF EDUCATION  
(DATE SEP. 14, 1950)

昭和二十五年九月十四日 印刷 昭和二十五年九月十八日 発行	著 者 石 森 延 男 金 田 心 象	定 価 十 五 円
東京都品川区東大崎一丁目五三二番地 発行者 光村図書出版株式会社 代表者 大江 恒 吉	東京都品川区東大崎一丁目五三二番地 印刷者 株式会社 光村原色版印刷所 代表者 光 村 利 之	東京都品川区東大崎一丁目五三二番地 発行所 光村図書出版株式会社



6

上

なまえ

広島大学図書

0130449899



出版株式会社